



令和3年7月27日

**新興・再興感染症データバンク事業（※1）に貢献する、  
広島大学発、新型コロナウイルスのマルチアプローチ疫学調査研究がAMED研究費を獲得  
～令和3年度「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」～**

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する疫学調査等の推進に関する研究」に、田中純子教授（広島大学）らの研究提案が採択されました（令和3年7月9日）。

広島大学発の、新型コロナウイルスの発生動向モニタリングから治療・後遺症データまで一元的に収集し・解析するマルチアプローチ疫学調査研究が、国の支援を受け開始します。

**【本研究開発の概要】**

広島大学と広島県では、大学・行政・主要医療機関が一体的に推進する全国でも例がない研究実施体制を令和2年度に構築し、ウイルス学、疫学、検査、臨床、医療体制の視点から新型コロナウイルス感染症の研究に取り組んできました（令和2年度官学連携検査研究体制構築事業）。

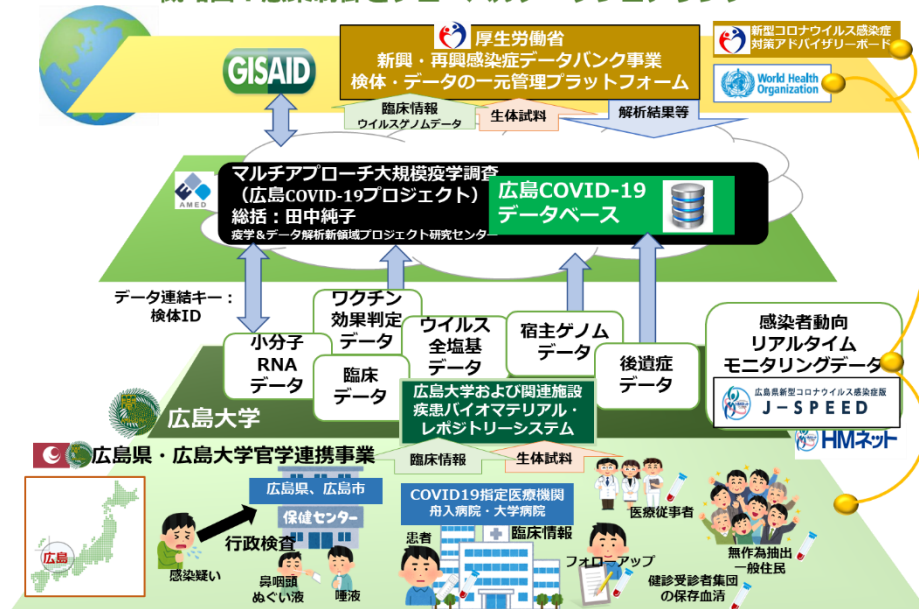
その研究基盤をもとに、新型コロナウイルスに関する疫学調査研究と医療情報共有システムの開発を実施するものです。

具体的には、新型コロナウイルスの発生動向モニタリングから、COVID-19 ウイルスゲノム解析、ホストゲノム解析（※2）による重症化リスク因子の解明、血清・唾液中の小分子RNA（※3）の次世代シーケンス解析（※4）、新型コロナウイルス患者血清中の抗体力価測定、ワクチン接種者の抗体力価測定など、これまで取り組んできた研究課題を発展的に実施します。多方向から COVID-19 にアプローチし、新型コロナウイルス感染症対策の推進に資する新たなエビデンスを創出することを目指します。

また、行政・保健・医療機関が迅速に医療情報を共有できるシステムの構築は、喫緊の課題であることから、将来の新興感染症も見据えた広島県独自の医療情報共有システムの開発を目指します。

本調査研究において得られた結果をもとに構築する「COVID-19 統合データベース」は、国が推進するバイオ戦略の一環としてのバイオバンクモデル（※5）として位置づけられ、将来的に国が推進する新興・再興感染症データバンク事業に貢献することにより、COVID-19 全容解明のための研究に活用されることが期待されます。

概略図：感染制御とグローバルデータシェアリング



**【事業名】** 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

**【研究開発課題名】**

広島県官学連携 COVID-19 研究体制を基盤とした疫学・臨床医学・ウイルス学・医療システム学の視点から新たなエビデンス創出を目指す発展的研究

**【研究開発実施期間】** 令和3年7月30日から令和4年3月31日

**【研究開発代表者】**

広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学 教授 田中純子

**【研究開発分担者】**

広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学 教授 大段秀樹

広島大学大学院医系科学研究科 ウイルス学 教授 坂口剛正

広島大学大学院医系科学研究科 細胞分子生物学 教授 田原栄俊

広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜

広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 教授 久保達彦

地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立舟入市民病院 病院長 高蓋寿朗

**【参考情報】**

令和3年度「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する疫学調査等の推進に関する研究）」（2次公募）の採択課題について

[https://www.amed.go.jp/koubo/11/02/1102C\\_00016.html](https://www.amed.go.jp/koubo/11/02/1102C_00016.html)

**（用語説明）**

※1 新興・再興感染症データバンク事業

新興・再興感染症の患者の臨床情報と臨床検体を収集し一括管理し、COVID-19だけではなく次の新興・再興感染症への「備え」として国内外の各種開発研究を促進するため、厚生労働省から国立国際医療研究センターが受託し、国立感染症研究所と共同で行っている基盤整備事業

※2 ホストゲノム解析

ヒトの遺伝子（塩基配列）を解読し、解析すること

※3 小分子 RNA

22塩基程度の小さな RNA。タンパク質の調整に関与することから新たな疾患マーカーとして期待されている

※4 次世代シーケンズ解析

数千から数百万もの DNA 分子を同時に配列決定できる高度な基盤技術を用いた解析

※5 バイオバンク

生体試料や医療情報を集積することで、医学研究を活発化し、医学・医療の発展に役立たせようとする仕組み

**【お問い合わせ先】**

広島大学 大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学

助教 杉山 文

教授 田中 純子

Tel : 082-257-5162 FAX : 082-257-5164

E-mail : jun-tanaka@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A 4 版 2 枚（本票含む）